

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 75号 (ウガンダ特集号)

2013/11/25 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：今先週の高値から更に上昇した。今シーズンの供給不足感で買いが集中

①週最高：3月 LDN 市場 £ 1,782 /12月 NY 市場 \$2,810 (11/20) 先週比 **LDN + £ 42 / NY + 80**

②週最低：3月 LDN 市場 £ 1,765 /12月 NY 市場 \$2,780 (11/22、11/18) 先週比 **LDN+ £ 100 / NY+ \$ 179**

週内価格差額 (①-②)：LDN 市場 £ 17 (傾向→) / NY 市場 \$30 (傾向→)

週内建玉推移：LDN市場 239,235枚(11/15終了時)⇒245,198枚(11/22終了時) **+5,963枚**

NY市場 203,796枚(11/15終了時)⇒214,228枚(11/22終了時) **+10,432枚**

【11月18日(月)】5日続伸＝供給逼迫懸念

世界的な供給逼迫(ひっばく)懸念を背景に5営業日続伸。ニューヨーク市場の12月きりは一時2784ドルと、2年ぶりの高値を付けた後、50ドル(1.8%)高の**2780ドル**で引けた。ロンドン市場の3月きりは26ポンド(1.5%)高の1766ポンド。MDA ウェザー・サービスによると、コートジボワールでは降雨の長期化が予想され、収穫に影響を及ぼすと懸念されている。

【11月19日(火)】6日続伸＝世界的な供給懸念

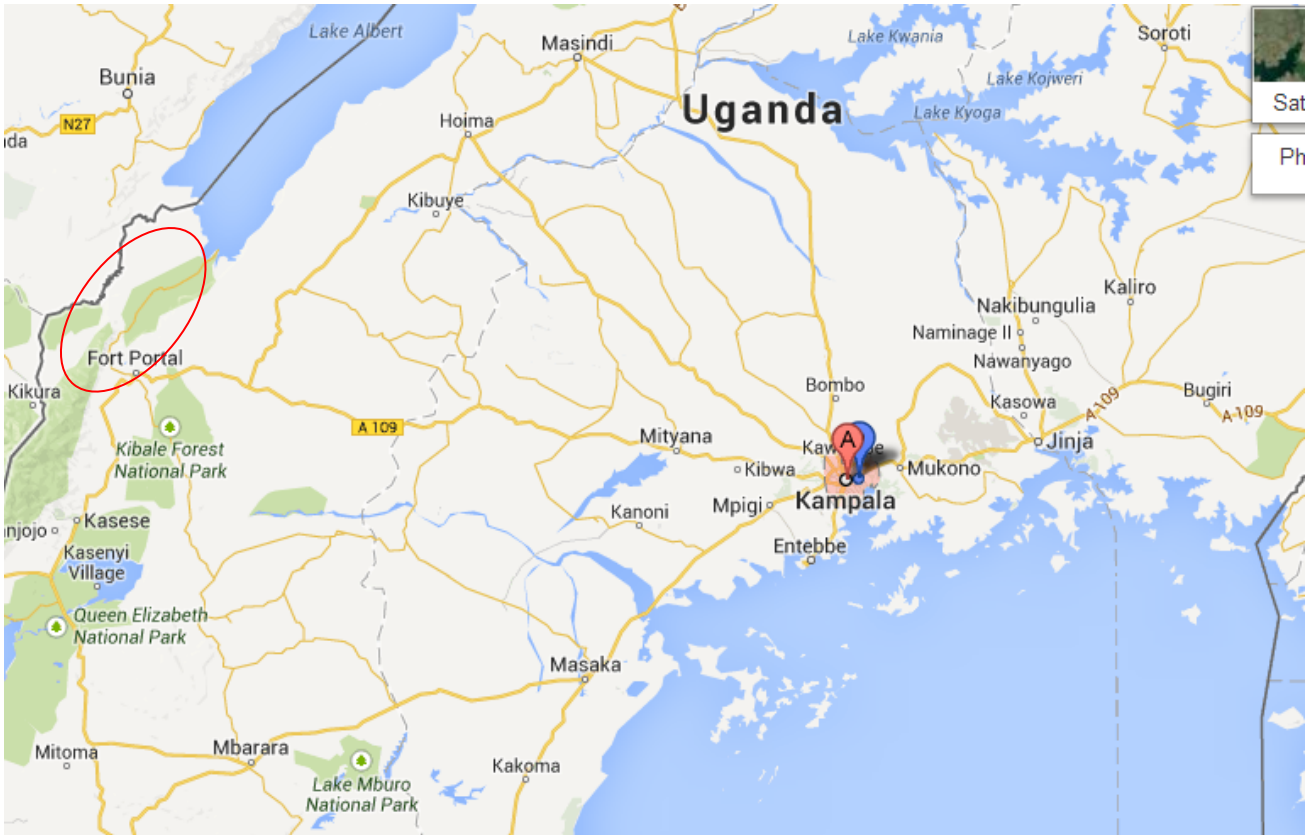
6営業日続伸し、2年ぶり高値を付けた。世界的な供給懸念から、投資家が引き続き買いを入れた。ニューヨーク市場の3月きりは一時2820ドルまで上昇し、2番ぎりとしては2011年9月以来の高値を付けた。その後、上げ幅を縮小し、終値は15ドル(0.5%)高の2795ドル。未決済約定残高は18日の時点で、2000枚超増の計20万5831枚。ロンドン市場の3月きりは、2年ぶり高値の1785ポンドを付けた後、8ポンド(0.5%)高の1774ポンドで引けた。

【11月20日(水)】7日続伸＝根強い供給懸念で

7営業日続伸し、前日に続いて約2年ぶりの高値となった。供給懸念が根強いことが背景。西アフリカ主要産地の降雨を受け、収穫が妨げられる可能性があるという。ニューヨーク市場の3月きりは15ドル(0.5%)高の**2810ドル**で終了した。ロンドン市場の3月きりは8ポンド(0.5%)高の**1782ポンド**で引けた。一時は1788ポンドまで上昇した。

【弊社プロジェクトの実施場所】

首都 Kampala から車で6～7時間西に行ったコンゴ共和国との国境沿いの山岳地帯



ポイント1) 農薬の使用がなくても十分な生産数量が見込める土壌、気候風土



この写真を見て頂ければ分かるようにかなり結実の良い農園が簡単に見つけられます。

ポイント2) 年間を通じた収穫=供給体制が可能

ウガンダのカカオのシーズンは10月～5月までは安定的に収穫が見込めます。6月～8月中は数量が落ちるものの収穫がないわけではありません。長い間、品質に大きな差がなく収穫が出来ることは非常に大きなメリット。また11月、3月頃に雨季があるもののカメルーンの西南部等に比べると、軽いものであり比較的乾燥もしやすい環境下にあります。



弊社の仕入先の中でも一番大きな農家が所有している乾燥台です。

この時期時折雨が降る為に、降雨があった場合は、直ぐにビニールシートで乾燥台を覆うように準備されています。



弊社が取り組んでいる中で2番目に大きな農家の乾燥台です。この農家は発酵工程も請け負っていて、ボックス法で小さな農家からフレッシュな状態でカカオ豆を買付け、自社で発酵を行います。

発酵&乾燥まだ行ったカカオとフレッシュの状態で購入するカカオの値段の差は約2倍です。

それでも小さな農家は早く現金化したい場合や、発酵するには量が少ない場合等はこのような大きな農家にカカオを売ります。

ポイント3) ガーナ、コートジボアールに比べ品質&価格のバランスは魅力的。風味も抜群

弊社では、ガーナ、コートジボアール、ナイジェリア、カメルーン、シエラレオネ等のカカオの取扱いがありますが、西アフリカの中でも品質の安定性と価格のバランスが抜群に良いというのが印象です。

日本でほとんど使用されていないのが不思議な産地です。

ウガンダの特徴的な風味として、西アフリカにはないフルーティーさ、軽さ、明るさがあります。西アフリカのガーナなどのような安定感、重厚さ、ビター感が少し緩く、逆に軽やかなフルーティーさが増した感じが特徴です。

参考写真)



ウガンダの気候は農業に最適ともいえ、カカオ農園と同じくコーヒー農園、紅茶農園など西アフリカに比べると湿気が少なく乾いた感じで気温も低めで、カカオの産地であるブンギブジョ地域は山と小高い丘が立ち並んでいます。丘の斜面にカカオ農園が続いているのが右下の写真です。

こんな素晴らしい自然の中で作られた自然のカカオ豆を読者の皆様にも是非使ってみていただきたいと考えております。ご興味のある方はお問合せ頂ければ幸いです。

3、アジア市場；ココアバターは7年ぶりの高値、ココアパウダーは価格上昇傾向(11/20)

- ・ココアバターの直近の供給は非常にタイトで、レシオを高く維持させている。
- ・一般的なココアパウダーは、2週間前の\$1300/トンから\$1,450/トンレベルへ上昇。

シンガポールのディーラー筋に聞いたと頃によると、今週のアジア市場はココアバターのレシオは直近の供給が非常にタイトなことを受けて、7年ぶりの高い値を維持した。一方でココアパウダーの需要がやや上がりつつあり磨砕業者にとっては好意的な状況となった。

ココアパウダーの購入は、チョコレートメーカーが年末需要の一部をまだ購入していなかったことによる購入で、2週間前は\$1300/トンまで下がっていたものが、今週は\$1450/トンで提示された。

『これは少し良いニュースだね。小規模の企業の数社から突然買付けの需要が入りココアパウダーの価格が上昇した。』シンガポールのディーラーは言う。『業界全体にとってもパウダーの価格が上がってくれることは良い事だよ』

磨砕業者は引き続きこの何週間もココアパウダーの在庫を販売することに苦心している。バイヤーはココアバターの価格が下がると知ってバーゲン価格での提示が出てくるのを待っている状態だった。

一方、ココアバターの需要は安定している。

10月中旬には7年ぶりの高いレシオとなっていた、ココアバターのレシオは今週はロンドン市場に対して2.80倍、欧州市場でのレシオは10月-12月デリバリー条件で2.86倍であった。

アジア市場での1月-3月デリバリーのレシオは2.60倍、4-5月デリバリーのレシオは2.55倍であった。

『どこの会社も直近出荷のココアバターの在庫は持っていないよ』シンガポールのディーラーは言う。『次の四半期(1-3月)分の引き合いはあるけれど、4月以降のバターの引き合いはまだないね。。』

来週の予測：

ディーラー筋はココアバターのレシオは、今週と同じレベルで来週も推移すると予測しているが、ココアパウダーは需要が少しでも弱くなればまた価格は落ちるだろうと予測している。

『今週は確かにココアパウダーの需要があったので価格が上昇したけれど数量は凄く小さいものだった』他のシンガポールのトレーダーは語っている。

4、ガーナ、メインクroppカカオの集荷数量が11月7日時点で228,458トンに到達(11/20)

ガーナのカカオ監督省庁であるココボッドが発表した統計によると2013年ガーナ産メインクroppの集荷数量が11月7日時点で、前年同時期対比30.8%の上昇となる228,458トンとなったことが判明した。

該当週は2013/2014シーズンの第3週目に該当するが、この1週間の合計の集荷数量は63,156トンで、第2週目の57,351トンよりも上昇した。

ガーナは、コートジボアールに次ぐ世界第2位のカカオの生産国で来年の9月末まで続くシーズンで830,000トンを集荷(生産)する計画である。

***特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。**

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp